

首都圏の論文問題の傾向と演習



白亜の会副会長 齊藤

論文問題は教育課題を踏まえた文科省および各自治体の教育目標および教育施策に関連して出題される

教育課題とは

- ①学力向上（授業改善）
- ②児童・生徒の健全育成（いじめ、不登校、自殺、特別支援教育など）

多くの自治体で
出題

準備しよう

受験する自治体の教育ビジョンや教師像を把握する

首都圏の近年の論文問題の傾向

- 1 教師側に立った論文問題(教師像)
- 2 児童・生徒側に立った論文問題(児童・生徒の育成)

どちらかが出題される

【東京都の教育に求められる教師像】

- 1 教育に対する熱意と使命感を持つ教師
 - ・ 子供に対する深い愛情
 - ・ 教育者としての責任感と誇り
 - ・ 高い倫理観と多様性に配慮した人権意識
- 2 豊かな人間性と**思いやり**のある教師 (令和6年論文)
 - ・ 温かい心、柔軟な発想や思考、創造性
 - ・ 幅広いコミュニケーション能力
- 3 **子供のよさや可能性を引き出し伸ばすことができる教師** (令和5年論文)
 - ・ 常に学び続ける意欲
 - ・ 一人一人のよさや可能性を見抜く力
 - ・ 教科等に関する高い指導力
- 4 組織人として積極的に協働し互いに高め合う教師
 - ・ 経営参画への意欲、協働性
 - ・ 高い志とチャレンジ精神
 - ・ 自他の安全を守る危機管理力

1 「東京都教育ビジョン」の位置付け

- 「東京都教育ビジョン（第5次）」は、国が定めた「第4期教育振興基本計画」を参酌し、**東京都教育委員会が定める施策展開の基本的な方針**（計画期間：令和6年度～令和10年度）
- 東京都知事が定めた「**東京都教育施策大綱（令和3年3月）**」と**基本的な方針を共有し、より実行力のある施策展開へ**
今後5年間の施策展開の方向性を示した、全ての教育関係者の「羅針盤」

2 策定の背景

- 人口減少による労働力不足、日本の国際競争力の低下が懸念、国際社会の中で**未来を切り拓く「人」の育成が急務**
- 外国人人口や障害者雇用数等が増加傾向、多様な人々が社会に参加・貢献できるような**共生社会の実現が不可欠**
- 教育の質を向上させるためには、**DXの推進や、優れた教員の確保が一層重要**

3 「未来の東京」に生きる子供の姿、東京の目指す教育

学校、家庭、地域、区市町村、関係機関等が連携して、
「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育」を推進することにより、
「未来の東京に生きる子供の姿」を実現



※ 東京都教育施策大綱（令和3年3月）と同一

4 第5次ビジョンの特徴

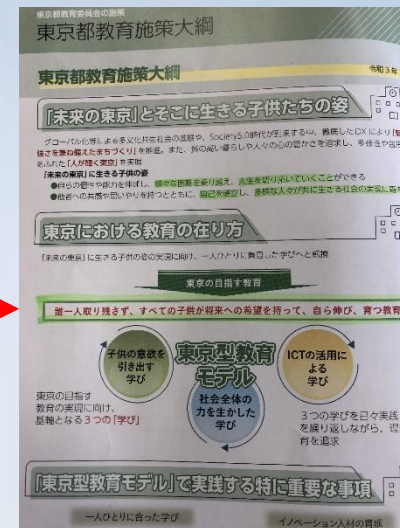
- **3本の柱を設定**
 - * 自ら未来を切り拓く力の育成
 - * 誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実
 - * 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化
- **12の「基本的な方針」を設定**
特に、教育のインクルージョンの推進、困難を抱える子供へのサポートの充実等の内容を強化
- **読みたくなる、使いたくなるビジョン**
図やグラフ等を用いて、教育関係者はもとより、子供にとっても分かりやすいものに

5 「東京都教育ビジョン（第5次）」の体系

柱	基本的な方針	5か年の施策展開の方向性
1 自ら未来を切り拓く力の育成	1 全ての児童・生徒に確かな学力を育む教育	①これからの社会を生きるために必要な基礎的、基本的な知識・技能の確実な習得 ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
	2 Society5.0時代を切り拓くイノベーション人材を育成する教育	③デジタルトランスフォーメーション（DX）時代を生き抜く人材の育成 ④新たな価値の創造に向けた専門的能力・職業実践力の育成 ⑤科学的に探究する力を伸ばす理数教育の推進
	3 グローバルに活躍する人材を育成する教育	⑥異なる言語や文化、価値を乗り越え関係を構築する力、新しい価値を創造する力の育成 ⑦豊かな国際感覚を身に付け、世界をけん引していくことができる人材の育成 ⑧我が国の伝統・文化等に立脚した広い視野や多様な人々と協働する力の育成
	4 主体的に社会の形成に参画する態度を育む教育	⑨自分の希望する将来への道がつながっていることを実感できる学びの実現 ⑩SDGsの理念等を踏まえた持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成
	5 豊かな心を育て、生命や人権を尊重する態度を育む教育	⑪人権尊重の理念を定着させ、あらゆる偏見や差別をなくす教育の充実 ⑫他者への思いやりなど、豊かな心を一人ひとりの子供たちに育む教育の推進 ⑬いじめ防止等の対策や自殺対策に資する教育等、健全育成に係る取組の推進
	6 健やかな体を育て、健康で安全に生活する力を育む教育	⑭生涯を通じて、たくましく生きるために必要な体力を育む教育の推進 ⑮健康で充実した生活を送るための力を育む教育の推進 ⑯危険を予測し回避する能力や、社会の安全に貢献できる資質・能力を育む教育の推進
2 誰一人取り残さない教育の充実	7 教育のインクルージョンの推進	⑰障害のある児童・生徒の能力を最大限に伸ばす教育の充実 ⑱柔軟な仕組みによる多様な学びの場を創出し、子供たちが尊重し合いながら学ぶ環境の整備
	8 子供たちの心身の健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実	⑲様々な困難を抱える児童・生徒への支援の充実 ⑳社会的な自立を支援する学びのセーフティネットの充実
	9 家庭、社会と学校とが連携・協働する教育活動の推進	㉑学校と家庭、地域・社会が一体となり、子供を見守り、育てる教育活動の推進 ㉒地域・社会の教育資源を活用し、子供を支え伸ばす教育活動の推進
3 子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化	10 これからの教育を担う優れた教員の確保・育成	㉓新たな学びを担う優れた教員の養成・確保 ㉔教員一人ひとりのキャリアに応じた資質・能力の向上 ㉕教育者としての高い見識をもち、広い視野で学校経営ができる管理職の育成
	11 学校における働き方改革等の推進	㉖教員が心身ともに健康に、やりがいを感じながら、職務に取り組める環境の整備 ㉗教員一人ひとりの健康保持の実現 ㉘公益財団法人東京都教育支援機構（TEPRO）との連携による学校支援の充実
	12 質の高い教育を支える環境の整備	㉙質の高い学校教育を支える環境、施設・設備等の整備 ㉚幅広い年代の都民の学習機会の充実

個別最適な学びと協働的な学びの背景(東京都教育施策大綱 令和3年3月)

東京の目指す教育



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育

Sustainable Development Goals(SDGs)

2015年の国連総会で、「誰一人取り残さない」を理念に、国際社会が2030年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17の持続可能な開発目標(ゴール)と169のターゲットが設定されました。SDGsをキーワードに、多様なネットワークと協働しながら、一人でも多くの人々が幸せを感じることができる社会を目指します。



誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って自ら伸び、育つ教育を目指して

東京都教育施策大綱



令和3年3月
東京都

【神奈川県教師像】

人格的資質・情熱 教職員としての人格的資質・教職への情熱

- 豊かな人間性と社会性、高い対人関係能力とコミュニケーション能力をもっている
- 子どもへの教育的愛情と責任感、教職に対する使命感と誇りをもっている
- 高い倫理観をもち、公平・公正に行動できる
- 変化に対応し、学び続ける向上心をもっている

課題解決力 子どもや社会の変化による課題の把握と解決

- 子どもをよく理解し、**多様な教育的ニーズ**に対して適切に対処・指導できる **(令和6年度論文)**
- 得意分野をもち、個性豊かで、連携・協力しながら指導できる
- 豊かな創造力をもち、新たな課題へ積極的に挑戦する意欲や実行力をもっている
- 教職員全体と協力し、学校全体を意識しながら組織的に取り組むことができる
- 保護者、地域の人々と協力して取り組むことができる

授業力 子どもが自ら取り組む、わかりやすい授業の実践

- 子どものやる気を引き出し、意欲を高めることができる
- わかりやすい授業の実践ができる
- 高い集団指導の力をもち、望ましい学級づくりができる
- 授業研究を生かした校内研修に進んで取り組むことができる

かながわ教育ビジョン

【横浜市教師像】

- ・ 教育への使命感や情熱をもち、学び続ける教師
- ・ 「チーム学校」の一員として、ともに教育を創造する教師
- ・ 子どもによりそい、豊かな成長を支える教師

横浜教育ビジョン2030

【埼玉県教師像】

- 健康で、明るく、人間性豊かな教師（令和4年論文）
- 教育に対する情熱と使命感をもつ教師
- 幅広い教養と専門的な知識・技能を備えた教師（令和6年度論文）

埼玉県教育振興基本計画

【相模原市教師像】

- ・ 人間性豊かな教師:子どもと共に感動を分かち合い、情熱を持って夢を語れる教師
- ・ 信頼される教師:子どもの願いや悩みに真剣に向き合い、家庭・地域・仲間と共に、その実現・解決に努める教師
- ・ 指導力向上に努める教師:子ども一人ひとりが「もっと学びたい」「もっと知りたい」と感じる授業を目指し、その実現のため自己研鑽に努める教師

第二次相模原市教育振興計画

【栃木県教師像】

◆人間性豊かで信頼される教師

教師には、子どもたちの人格形成に関わる一人の人間として、豊かな人間性や社会性、常識と教養、礼儀、コミュニケーション能力などの資質が求められる。子どもたちが自分自身の目標に向かい、自己実現と社会的自立ができるよう、保護者や地域と連携し、教師自身が学び続ける姿勢を示すことが信頼につながる。

◆幅広い視野と確かな指導力をもった教師

幅広い視野と確かな指導力をもった教師 教師には、研究と修養に努めながら幅広い視野と教養、そして、**確かな指導力**を身に付けることが求められる。これからの社会を生きる子どもたちには、生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成が求められる。 **（令和3年度論文）**

◆教育的愛情と使命感をもった教師

教育的愛情と使命感をもった教師 教師には、自分の仕事に対する使命感や誇り、子どもに対する愛情や責任感をもつことが求められる。教職に対する誇りや、子どもたち一人一人の個性や能力を伸ばそうとする深い愛情は、様々な教育課題を乗り越える力となり、それが子どもの成長とともに教師自身の成長にもつながる。

栃木県教育振興基本計画2025

【千葉県教師像】

- ・ 人間性豊かで、教育愛と使命感に満ちた教員
- ・ 高い倫理観をもち、心身ともに健康で、明朗、快活な教員
- ・ 幅広い教養と学習指導の専門性を身に付けた教員（令和2年度）
- ・ 幼児児童生徒の成長と発達を理解し、悩みや思いを受け止め、支援できる教員
- ・ 組織の一員としての責任感と協調性をもち、互いに高め合う教員

千葉県の教育
教育立県ちば
千葉県・千葉市教員等育成指針
教員の5つの柱 等

【川崎市教師像】

子どもの話にきちんと耳を傾けることができる。（令和5年度）
子どもと一緒に考え行動できる。
こどもに適切なアドバイスを与えることができる。
教材研究がきちんとできる。

過去の論文問題のキーワード（東京、神奈川、横浜、川崎、埼玉、千葉など）と問題のとらえ方

真の学力、個に応じた指導、協働、ICTの活用、主体的・対話的で深い学び、実践的指導力、見方・考え方、探求する力、教師と児童・児童相互の信頼関係、学習意欲、自主的・自発的な学習・活動、言語活動、情報活用能力、人権意識、一人一人を大切にする教育、多様性、魅力ある学校、豊かな教育環境、子供の可能性、社会全体での子供の育成、健康で明るく人間性豊かな教師、未来を創るこどもたち、未来を育てるわたしたち、いじめのメカニズム、オンライン授業、子どもの話に耳を傾ける教師、一人一人の良い点や可能性を伸ばす、自己肯定感、自尊感情、幅広い教養・専門的な知識・技能を備えた教師、変化に柔軟かつ創造的に対応できる力

確かな学力
真の学力
実践的指導力

○学力向上 ○心豊かに、たくましく生き抜いていく基礎を培う、の視点に立つ

背景： 学力向上 いじめ、不登校、自殺 特別支援教育等

学習指導（授業改善）で論述できるテーマが多い

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

心豊かにたくましく生きていく基礎

主体的・対話的で深い学び 個別最適な学び 協働学習 ICTの活用
総合的な学習（探求）の時間 各教科 道徳 特別活動等

地域・関係機関等学校を超えた連携

学力とは何か（文科省）

確かな学力
真の学力
実践的指導力

- 1 知識・技能
- 2 思考力、判断力、表現力
- 3 課題発見・問題解決能力
- 4 学ぶ意欲、学び方

心豊かにたくましく
生きていく基盤
「生きる力」

情報活用能力 ⇒ 課題発見・問題解決能力を支える基盤（文科省）

言語能力 ⇒ 学力を支える重要な要素（文科省）

下記の教師像を踏まえ、黄色の内容の問題の背景や現状、および具体策について自分の考えを述べよ。

●人間性豊かで信頼される教師

〔豊かな心の育成〕

●教科の専門性等、確かな指導力をもつ教師

〔確かな学力の向上〕

個人ワーク ： 10分

グループワーク ： 10分

発表（グループごと）

1 豊かな心の育成について

問題の背景、現状等のとらえ方

改善にむけた具体策

2 確かな学力の保障について

問題の背景、現状等のとらえ方

改善にむけた具体策

学校の役割とは

子供を幸せにすること

子供の幸せとは

愛され、ほめられ、人の役に立ち、必要とされること

自己肯定感

南千住検定



学校は楽しくなければならない

レスキュー部



序論を書いてみよう

問題文 東京都2024

次の問題について〔1〕と〔2〕を合計して30行（1,050字）以内で論述しなさい。ただし、26行（910字）を超えること。

各学校では、児童・生徒に他者への共感や思いやりの心を育てる教育を目指しています。

（1）児童・生徒の思いやりの心を育てることについてあなたの考えを述べなさい。

（2）（1）の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

例1

学校の役割とは児童を幸せにすることである。幸せとは児童一人一人が思いやりの心（問題文のキーワード）をもち、生きる力への成長が実感できることである。いじめ、不登校の増加は学校に突き付けられた喫緊の課題であり、思いやりを育む教育はその解決に向けた重要な取り組みであると考える。

私はこうした現状を踏まえ、小学校教師として思いやりの心を育み、誰一人取り残さない教育を実現していく。以下具体策を述べる。

例2

学校の役割とは生徒を幸せにすることである。幸せとは生徒一人一人が思いやりの心をもち、生きる力への成長が実感できることである。いじめ問題が後を絶たず、不登校生徒は増加の一途をたどっている。生徒一人一人が幸せを実感し、過ごしやすく安心できる環境をつくることは学校の使命であると考える。

私はこの信念のもと、中学校英語科教師として、思いやりの心を育み、誰一人取り残さない教育を実現していく。以下具体策を述べる。

序論を書いてみよう

問題 1

各学校では、児童・生徒の豊かな心を育む教育を目指しています。

(1) 児童・生徒の心の豊かさを育むことについてあなたの考えを述べなさい。

(2) (1) の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

問題 2

各学校では、児童・生徒に確かな学力を保障する教育が求められています。

(1) 児童・生徒に確かな学力を保障することについてあなたの考えを述べなさい。

(2) (1) の考えを踏まえ、あなたは教師としてどのように取り組んでいくか、志望する校種と教科等に即して述べなさい。

論文の書き方

- 序論 (20%) : 論文題の受け止めと課題解決への方向性
- 本論 (70%) : 課題解決策2つ(東京都)、1つ(神奈川県など)
- 結論 (10%) : 課題解決・教師となる決意

学校の役割は子どもを幸せにすることである。幸せとは「差別がなく、一人一人が助け合って他者と共生することである」しかし差別は世界的な問題であるのが現状である。人種、国籍、障害、性などにとらわれず、誰もが共感や思いやりをもって共生していく社会の実現が大切であると考えます。

私は高校保健体育の教員として「児童、生徒一人一人に他者への共感と思いやりの心を育む教育」について以下2つの方策に取り組む。

1つ目は、障害に関する差別を無くすための体験学習を行う。保健体育の授業で車椅子バスケットボールを実施する。実際にパラスポーツ選手を呼び、車椅子バスケットボールと通常のバスケットボールの違いやパラスポーツならではのルールについて学ばせる。また、実際に車椅子に乗って競技をし、試合などを通して選手と触れ合い、生徒に興味、理解を持たせる。次週の保健体育の授業で実際に体験して思ったことや考えたこと、障害についての意識の変化などについてワークシートに記入し、グループで共有する。これにより、体験を通して、他生徒の障害についての考えなども知ることができ、障害についての理解が深まると共に障害に対する意識が変わると考える。

2つ目は、学級活動を通して、共生社会の実現を目指す「バリアフリーマップ」の作成をする。この活動では実際に町の地図をもって課外活動を行い、電車やバスなどの公共交通機関、道路や建物などから危険な場所、安全な場所を見つける。危険性がある場所には赤、安全性がある場所には青などの色分けをし、他生徒にも分かりやすい自分だけのバリアフリーマップを作成させる。また、どうしたら誰もが使いやすいものになるのかを考えさせ、1人1つ以上「新しいバリアフリーアイテム」と称してアイデアを考えさせる。これらは次週の学級活動にて、クラスの班で意見共有し、大きな紙に班全員のバリアフリーマップを記入し全体で発表する。この活動では、生徒が年齢や障害に左右されない共生社会について理解を深めることができると共に新しいアイデアや意見を通して、他者を思いやる心の育成にも繋がると考える。

誰もが幸せを享受できる共生社会の実現には周囲に目を配る共感や思いやりは不可欠である。私は常に「助け合い」を重視した教育実践を行う。粘り強い実践を通して、生徒と共に向上心を持って成長していく覚悟である。